

木更津市中心市街地活性化協議会第2回総会
会議録

日 時：平成30年10月23日(火) 15:00～16:50

場 所：中央公民館 第7会議室

出席委員（敬称略）

団体名	役 職	氏 名	備考
木更津商工会議所	会頭	鈴木 克己	
木更津商工会議所	専務理事	永野 昭	
木更津市富士見通り商店街振興組合	理事長	吉田 弘	
木更津東部商店街振興組合	副理事長	奈良本 浩規	代理出席
木更津一番街商店街振興組合	理事長	國吉 俊夫	
南町区睦会	会長	高木 厚行	
大和町親交会	会長	山田 恒夫	
東日本旅客鉄道株式会社	木更津駅長	山口 一男	
日東交通株式会社	代表取締役社長	小宮 一則	
小湊鐵道株式会社	取締役社長	石川 晋平	欠席
千葉県タクシー協会 南房支部支部長	かずさ交通株式会社 営業部長	田丸 耕三	代理出席
木更津市観光協会	会長	野口 義信	
イオンモール木更津	ゼネラルマネージャー	古川 明	
木更津金融懇談会 幹事	京葉銀行 木更津支店長	牛川 秀明	
かずさ青年会議所	理事長	鈴木 崇史	
日本大学	教授	北野 幸樹	
木更津市	副市長	田中 幸子	欠席
木更津市	企画部長	山口 芳一	
木更津市	経済部長	栗原 由和	
木更津市	都市整備部次長	宮澤 清美	代理出席

事務局

企画部次長 石井 宏典

企画部参事兼地域政策課長 栗田 伸一

企画部地域政策課 地域政策担当総括 鶴岡 佳代

企画部地域政策課 地域政策担当 主事 松田 紗希

配布資料

木更津市中心市街地活性化協議会第2回総会 会議次第
木更津市中心市街地活性化協議会委員名簿
木更津市中心市街地活性化協議会第2回総会出席者名簿
木更津市中心市街地活性化協議会第2回総会席次表
木更津市の中心市街地に関する市民アンケート 結果概要【速報版】
木更津市中心市街地活性化基本計画（骨子案）
民間事業者等進出意向調査資料（案）
木更津市中心市街地活性化協議会 資料（中小企業基盤整備機構 関東本部作成）

1 開 会

2 あいさつ

北野会長よりあいさつ

3 新委員紹介

交代委員の紹介

（木更津金融懇談会幹事 京葉銀行木更津支店長 牛川秀明氏紹介・あいさつ）

4 議 事

(1) 市民アンケート調査結果について

会長

事務局から、アンケート結果概要（速報版）について、説明をお願いします。

国際航業株

資料に基づき説明。

会長

確認・質問事項があれば、ご発言をお願いします。

山口委員

問3の3)の回答では「交通機関の充実」が一番多いが、具体的には何を指すのか。

国際航業株

具体的な回答は聞いていないので何とも言えないが、駐車場のことも含めた交通環境全体を指していると思われる。

永野委員

若い人はどの様に感じているのかなど、年齢層ごとの分析をしていただきたい。

会長

回答者の意識を導くようなクロス集計が必要である。

国際航業株

年齢層、居住地域等に着目し、クロス集計を進めたい。

野口委員

この調査結果に非常に興味があるため、全データを提供していただきたい。

事務局

個人データも含まれると考えられることから、検討した上で回答する。

奈良本委員

アンケートの結果は想定範囲であると思われるが、これを計画でどの様に活かすのか。

事務局

基本方針など、協議会の中で議論して反映する予定である。

小宮委員

現時点では、木更津駅から 2km～3km の範囲で、バス路線が放射状に構成されている。それより遠い範囲は、バス路線の満足度が落ちる傾向にある。「交通機関の充実」については、何を指すのかのほか、居住地の駅からの距離を重視されたい。

会長

まさに、そういった解析が必要である。「交通機関の充実」と回答した人が誰なのか、何を望んでいるのかの分析をお願いしたい。

国際航業株

承知した。

(2) 木更津市中心市街地活性化基本計画（骨子案）について

会長

事務局から、基本計画（骨子案）について、説明をお願いします。

国際航業株

資料に基づき説明。

会長

質問や意見があれば、ご発言をお願いします。

野口委員

観光的には、車以外の交通手段を確保することが重要だと考えている。電車、バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど、来訪者の交通上の利便性についても、基本方針に盛り込んでもらいたい。

また、市の HP においては、高速バスの時刻表には直ぐに行き当たるが、他の交通手段はアクセスできない。利便性の向上は、訪日外国人にも有効であるため、HP の改善も必要である。

山口委員

木更津駅ができて 48 年が経過するが、鉄道があるために街が分断している。駅舎の建替えや自由通路の問題があると考えている。駅舎については、汚い状態では困るため再塗装をしなくては行けないが、西口は既に完了している。一方、東口の再塗装を本社に要求し

ているが、それを実施すると、駅舎の建替えが先送りになるという側面も持ち合わせている。また、自由通路であれば、市での建設・管理になると思われる。そのあたりのことも含めて、この会議で議論していただければと思う。

小宮委員

高速バスを10年続けているが、利用者数は頭打ちになっている。路線の分散も原因の一つであるが、木更津から都心に向かう手段としては飽和していると感じている。朝の時間帯は、東京に向かう路線は満席でも、木更津に向かう路線の乗車率は低い常態である。

一般の路線バスでは、路線がわかりにくいという指摘があるため、弊社としても発信の方法を学ぶ必要があると感じている。また、交通事業者としては、目的地の情報を効果的に発信する必要があると感じている。

課題としては、木更津の外からの課題と市内からの課題を分けて考える必要があると考えている。

会長

来訪者と地域の人、ハード（施設）とソフト（使い方・情報発信等）、形あるものと形が無いものなど、色々な2つの側面があり、それらうまく連携させて進めて行くには、民も官もそこに住んでいる人も、一緒になって取り組んでいく必要がある。

市民アンケートの間3では、欲しいものと必要な施設・取組が、一見バラバラの回答になっているが、2つの側面という観点で捉えると、見えてくるものがあると思われる。

永野委員

資料では、中心市街地の人口は減っているとのことだが、木更津駅の東口側は、人口が伸びているのではないかと。

中心市街地の活性化は、市内外から来る人を増やすことと、そこに住む人を増やすことだと考えている。その意味で、今回の市民アンケートでは、市内から市街地に来ることや住むことはある程度わかるが、市外から来る人のことをどの様に考えるのが課題である。

活性化に成功している都市は、民間がそこに魅力を感じて参画しているところである。活性化のキーは、民間事業者がどう参画するかである。参画するためのインセンティブ、例えば公共公益施設の集積だとかを、市としてどの様に打ち出せるかにかかっている。本日提案の基本方針では、それが感じられない。民間事業者への説明会や回答を基に、必要な修正を加えてもらいたい。

会長

本日の基本方針は、概念的なものとしては聞こえが良いのかもしれないが、民間事業者がリスクを背負いながらも新たな事業に踏み出そうという決意を促すという意味では不足している。方策や具体的な言葉が入り、市のビジョンが見える様なものがあればと思う。

次回以降、木更津らしい中心市街地とは何なのかを議論できたらと思う。

(3) 民間事業者等進出意向調査案について

会長

事務局から、民間事業者等進出意向調査資料（案）について、説明をお願いします。

事務局

資料に基づき説明。

会長

質問や意見があれば、ご発言をお願いします。

奈良本委員

参加者数を教えてもらいたい。

事務局

説明会は、事前登録制ではないため、参加者数は、開催してみないとわからない。

野口委員

説明会の時間はどのくらいを考えているのか。

事務局

1時間から1時間30分を予定している。

会長

それでは、本日の議事は、このあたりで終了とします。

5 情報提供

中心市街地活性化の取組について

事務局

本日は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部の方々にお越しいただきました。木更津市での検討の参考になるお話しをしてくださるとのことですので、よろしく願い致します。

中小機構

あいさつ及び資料説明

事務局

質問などがあれば、ご発言をお願いします。

委員

(発言なし)

6 その他

事務局

次回の総会は、11月26日(月)14時からを予定している。

7 閉会

以上